

食料自給率向上と地球温暖化防止への挑戦 ～ポイント付加による国民運動への提案～

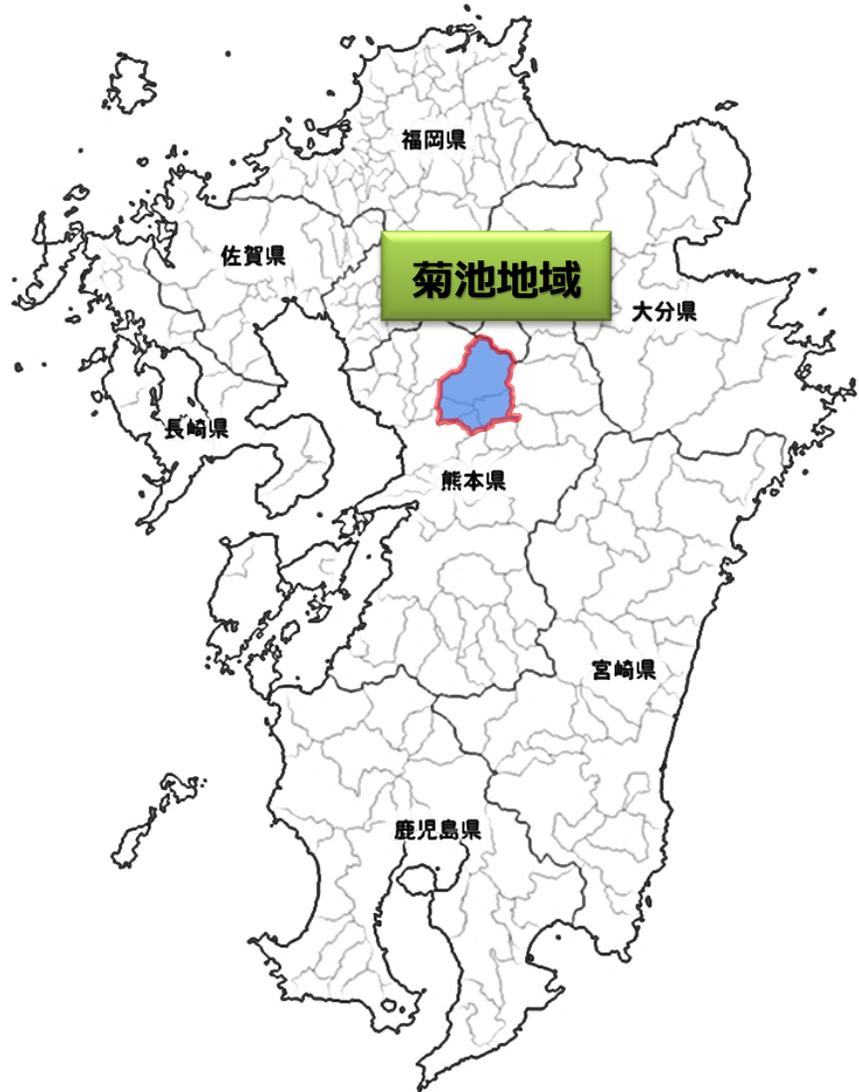


J A 菊池 代表理事組合長 三角 修

JA 菊池の概況

1

きくちのまんま



菊池地域は熊本県の北東部に位置し、東部並びに北部は、阿蘇外輪山系を有する中山間地、西部並びに南部は菊池川、白川流域に広がる台地・平野部であり、自然豊かな地域です。

J A 菊池の概況 (令和3年3月末)

2

きくちのまんま

設立：平成元年4月1日

出資金：46億1,822万円

総資産：1,739億円

組合員数：組合員数 14,419名
正組合員 7,425名 (6,793戸)
准組合員 6,994名 (5,892戸)

役員数：理事 31名(うち常勤役員3名)

監事 7名(うち常勤監事1名)

職員数：職員数 579名(うち正職員427名)

支所数：8中央支所

主な事業量

貯金 1,505億円

貸出金 534億円

購買品供給高 156億円

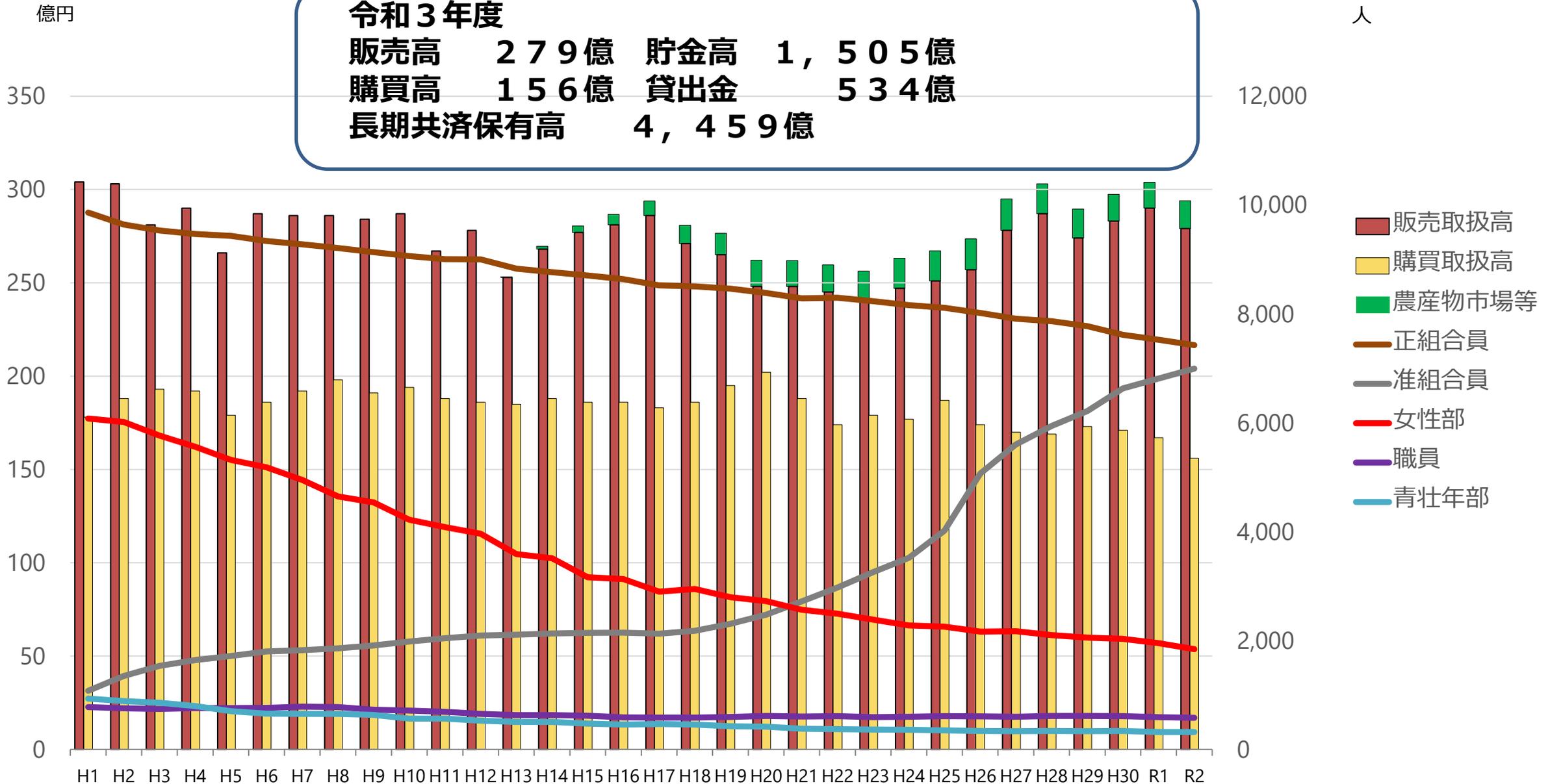
販売品販売高 279億円

長期共済保有契約高 4,459億円



J A 菊池の概況 (事業の推移)

令和3年度
 販売高 279億 貯金高 1,505億
 購買高 156億 貸出金 534億
 長期共済保有高 4,459億



主な組合員組織 (統一部会)

(令和3年3月末)

* ゴボウ部会	83名
* 人参部会	66名
* スイカ部会	69名
* メロン部会	27名
* 苺部会	42名
* 甘藷部会	32名
* オクラ部会	47名
* アスパラガス部会	52名
(熊本県版GAP認定)	
* 花卉部会	72名
* 椎茸部会	27名
* 茶部会	29名
* 栗部会	156名
* 合計	702名

* 集落営農 43組織

* 酪農部会	139名
* 肉牛部会	68名
* 養豚部会	9名
* 一貫繁殖牛部会	100名
* 肥育用素牛育成部会	6名
* 合計	322名
40才以下 (77名) ・ 23.9%	

* 青壮年部 319名

* 女性部 1,843名

菊池米

- ・ 米の食味ランキング
特A受賞13回



菊池水田ごぼう

- ・ 昭和42年頃稲作の裏作として取り組み
- ・ 畑ごぼうに比べ、色が白く、やわらかい
- ・ 生でも皮付きでも食べられるほど
- ・ 作付面積158ヘクタール
- ・ 平成31年 GI（地理的表示）取得



カスミ草

- ・ 昭和47年、菊池管内で栽培始まる
- ・ 全国有数の産地として市場評価が高い
- ・ 作付面積23ヘクタール



酪農

生乳出荷 84,395トン
販売高 94億円

肥育

出荷頭数 9,147頭
販売高 76億円

繁殖

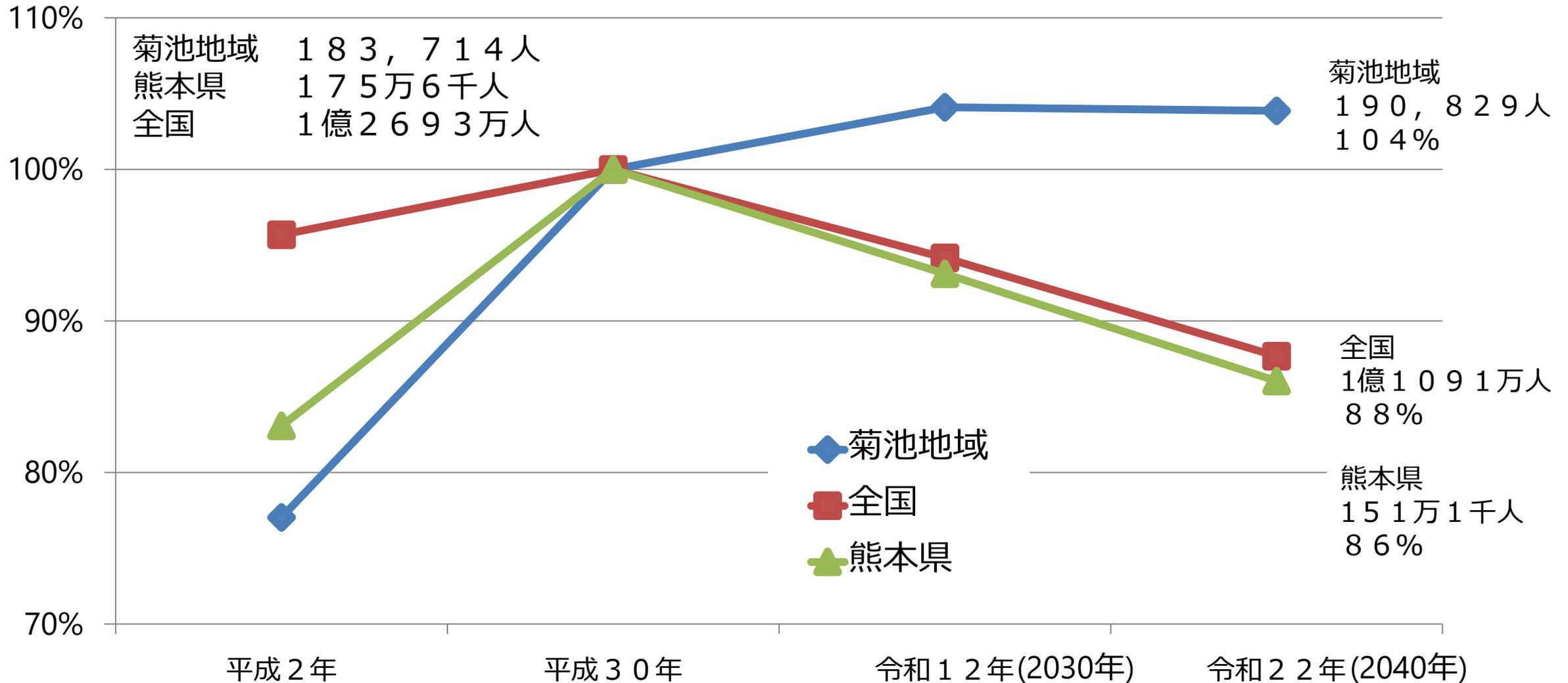
出荷頭数 5,220頭
販売高 23億円

豚

出荷頭数 60,272頭
販売高 22億円



平成30年を100%とした人口推移グラフ



農産物市場「きくちのまんま」 H13～



菊池店
合志店
菊陽店
3店舗運営

葬祭場「虹のホール」 H19～



法事会館 H27～



移動購買車「きくちのまんまGO」
H31～



デイサービスセンター H17～
老人ホーム H24～



女性部「サマーレディースクール & 家の光大会」H12～

女性部「ふれあいの旅」 H5～



TOUR JA菊池合併30周年記念
ぼしふいっくびいなすで航く
運賃付き
雨の要無
奄美大島
世界自然遺産
屋久島
平成30年7月23日(月)～7月26日(木)
129,000円 998,000円
"非日常"の海原へ、
ぼしふいっくびいなす
と共に航く。
きくちのまんま

A vertical poster for a tour celebrating the 30th anniversary of JA Kikuchi's merger. It features a photo of a man in a suit and a scenic view of a coastline. The text includes "TOUR JA菊池合併30周年記念", "ぼしふいっくびいなすで航く", "運賃付き", "雨の要無", "奄美大島", "世界自然遺産", "屋久島", "平成30年7月23日(月)～7月26日(木)", "129,000円 998,000円", "「非日常」の海原へ、ぼしふいっくびいなすと共に航く。", and "きくちのまんま".



地域の子供たちに向けた花育 H4～

J A 菊池の活動

13

きくちのまんま

まんまキッズスクール H20～



ロアッソ熊本
サッカー教室・観戦ツアー

H20～



菊池 きくちのまんま

子供たちのための 景色の見える食卓作り 推進シンポジウム H22～



20歳の食卓
高崎高岡市立理鶴小学校 教諭 稲谷真由美氏
大人が子どもに残せるもの

保護者・教育関係者のシンポジウム

学校給食への食材提供 H25～



中学生と出荷
会員さんとの
意見交換



学校給食栄養士
による畑視察

菊池市学校給食へ2500万円供給

えこめ牛 「うまかモン料理甲子園」 H26～



えこめ牛を使った高校生の創作料理

明日、パラダイス塾 H29～



新規就農者 アスパラガス塾

小集団活動 H24～



風通しのよい職場作り、地域とのふれあい

さわやか窓口コンテスト H12～



組合員・利用者に気持ち良くご利用いただく

家の光表彰



平成28年 第58回全国家の光大会
記事活用の部「志村源太郎記念賞」
中村 巴さん



平成29年 第59回全国家の光大会
普及文化活動の部「全中会長賞」
佐藤 昭子 職員



平成28年 第5回家の光懸賞論文
「最優秀賞」三角 修 組合長



平成30年 第68回 家の光文化賞

「よかボス」宣言 H30～

私は、JA菊池が未来永劫発展するよう、自ら仕事と生活の充実に取り組むとともに、職員の仕事と生活の充実を応援し、さらには菊池地域から熊本を盛り上げていくため、以下の事項を約束します。

1. 私は、協同の理念を学び実践を通じて、共に生きがいを追
求できる職員を、大切にします。
2. 私は、楽しみながら仕事をし、家事や余暇などの生活も楽
しむ職員を、誇りに思います。
3. 私は、失敗を恐れず、自らと地域のために挑戦する職員を
応援します。
4. 私は、男女の区別なく職員の結婚、子育て、介護など、そ
れぞれのライフステージにおいて希望や安心が実現できる
よう、応援します。
5. 私は、「よかボス」を増やすため、協同組合の絆を活かし
関連企業・団体への働きかけを行います。



JA 菊池地域農業協同組合と 農 東京農業大学との 包括連携協定締結式



H30. 4. 18 締結



カスミソウ酵母による日本酒造り

マイバッグ運動 H4～



家活「風呂敷バッグ作り」



新聞紙エコバッグ

3010運動

3010(さんまるいちまる)運動とは
飲食店での会食、宴会時に開始30分間と終了前10分間
は、自分の席で食事をして食べ残しを減らす運動です。

五箇条の誓い

会食、宴会時には、次の五箇条を実践して、おいしく
残さず食べきりましょう！

- 一、食べきれぬ分だけ「適量注文」すべし！
- 一、「肥後のいっちょ残し」は慎むべし！！
- 一、開始30分、終了前10分は席を立たずにしっかり
食べる「食べきりタイム」を実行すべし！
- 一、料理はみんなで「シェア」すべし！
- 一、心を込めて作った人に感謝すべし！



「生活協同組合くまもと」との連携



耕畜連携 H16～



ペレット堆肥 H20



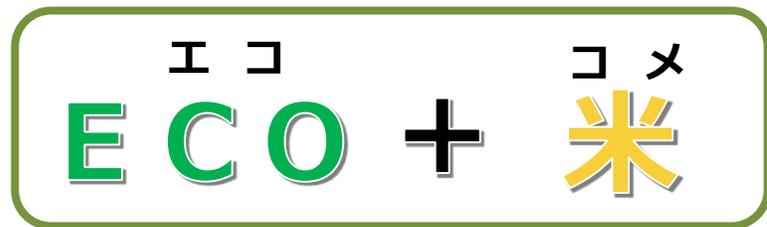
ペレット
堆肥製造機



今後3年間で重点的に取り組む五つの柱

- ① 持続可能な食料・農業基盤の確立
- ② 持続可能な地域・組織・事業基盤の確立
- ③ 不断の自己改革の実践を支える経営基盤強化
- ④ 協同組合としての役割発揮を支える人づくり
- ⑤ 食、農、地域、J A にかかる国民理解の醸成

対話を通じた
不断の自己改革



“地球を大切にしたい”
その思いを込めて、お米を食べて
育った『えこめ牛』を生産してい
ます。

 は、地球環境に優しいという意味を表す **ECO** と **米** を合わせた造語で、
えこめ牛とは、まさにお米を食べて育った地球環境に優しい牛です。



ECO につながるわけは…
牛が地元のお米を食べることによって…

① **輸入飼料を減らす** ことができます。



外国産トウモロコシと代替することにより食料自給率が高まるとともに、輸送の際に排出されるCO2を削減できます。

② **水田を守る** ことができます。



耕作放棄地の活用などにより飼料用米を作れば水田が増え、農地の保全と地下水涵養が1頭当り4,000トンにつながります。

③ **お肉の風味が増** します。



旨み成分である不飽和脂肪酸含有量が高まりお肉の風味が増し、美味しくなります。

地下水と土を育む農畜産物等認証

熊本県 第1号



えこめくん



第3回飼料用米活用畜産物ブランド
日本一コンテスト
全国農業協同組合中央会会長賞
受賞



熊本市地下水保全顕彰制度
ブロンズ賞受賞

フードマイレージから計算した輸送でのCO₂排出量

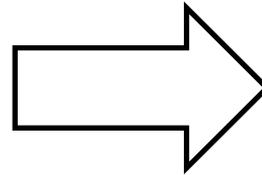


飼料用米

約30.6kg / トン当たり
(菊池から八代往復)



26.6倍



とうもろこし

約815kg / トン当たり
(ニューオリンズから菊池)

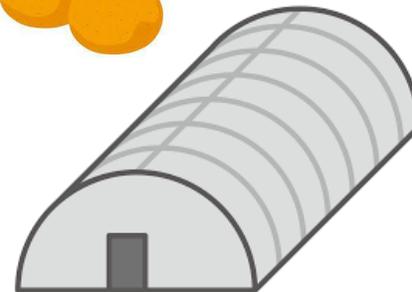


ハウスみかんを生産するのに年間排出されるCO₂排出量



露地みかん

0kg / 10a当たり



ハウスみかん

54,200kg / 10a当たり

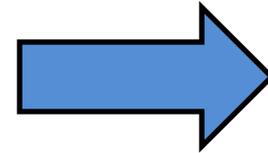
日本の温室効果ガスの削減

2013年(平成25年)

46%削減

2030年(令和12年)

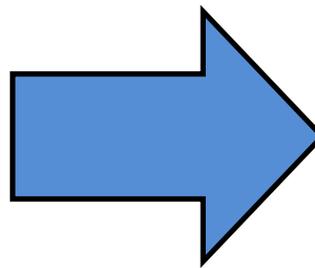
約 11 t CO₂/人



約 5 t CO₂/人

CO₂削減

**旬産旬消
地産地消
国消国産**



**食料自給率
向上**

CO₂量排出軽減に応じたポイント付加

一般国産牛

(輸入穀物3,800kg~4,500kg)

(輸入穀物100%)



(輸入穀物3,800kg、飼料用米300kg)

(輸入穀物92%、飼料用米8%)



フードマイレージ
水資源の確保
環境負荷の低減

0 ポイント



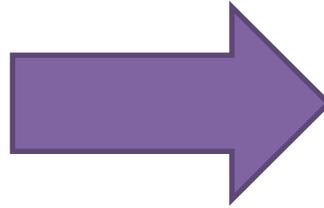
25 ポイント

【インセンティブ】

ポイント数



税金の優遇 (軽減)



【国民のコンセンサス】

SDGs

カーボンニュートラル
みどりの食料システム戦略

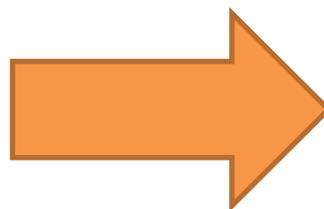
システム開発
〔 農林水産省・環境省
デジタル庁・国税庁 〕



食料自給率 (カロリーベース) の目標

(現在) **2021年**(令和3年)

37%



(目標年度) **2030年**(令和12年)

45%



平成27年

めざそう自律創造型職員



平成28年

自己改革への挑戦



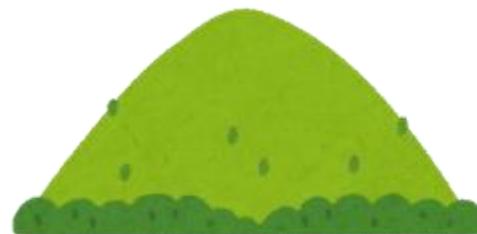
平成29年

人が育つJ A 菊池づくり



平成30年

積土成山





平成31年

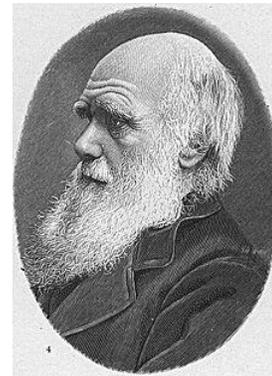
S D G s

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



令和2年

進化論



令和3年

ニューノーマル



持続可能な農業・地域共生の未来づくり

- 国民・地域住民からの J A への期待
- 食糧自給率の向上
- S D G s
- カーボンニュートラル
- みどりの食料システム戦略
- 国民運動としてのポイント化



未来永劫な日本の農業・J A 菊池でありたい